

「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.5 令和元年11月1日

医療業務に携わる人材（看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等）育成のための進学指導を行います。

→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、長岡崇徳大学等の進学を目指します。

○10月11日(金) 15:00～17:00 会場: 社会科教室

2学年医療専攻対象 医療講演会

テーマ: 「難病について」

講師: 西新潟中央病院 脳神経内科 医師 高橋 哲哉先生

難病患者の方からの講演

「NPO法人新潟難病支援ネットワーク」の3名の皆様の出張授業でした。

「医師・患者様および事務局の方」という構成で、同時に様々な立場の方のお話を聞く貴重な機会となりました。

高橋先生の講演



質疑応答の様子



【プログラム】

- | | | |
|-------|----|---------------------------|
| 15:00 | 開会 | NPO法人の司会者からの挨拶・出前教室の趣旨説明 |
| 15:10 | 講演 | 「難病について知って欲しいこと」 |
| | 講師 | 高橋 哲哉 先生(西新潟中央病院 脳神経内科医師) |
| 16:00 | 講演 | 「難病と分かって」 |
| | 講師 | 特発性 ACTH 単独欠損症の患者 様 |
| 16:35 | | 質疑応答・感想発表 |
| 17:00 | 閉会 | |

* 生徒の感想 *

今日の講演会で、難病の症状や種類、治療やそのリスクなどを学ぶことができました。技術の進歩により様々な道具や機械が開発されていて、難病の方への生活支援が向上してきていることにとっても驚きました。その一方で、まだまだ社会からの難病への理解がたりておらず、大変な思いをしている方々が多いことも知りました。まずは私達自身をもっと難病を理解していくことが大切だと思いました。

○10月15日(火) 新潟大学講義体験 15:55~16:45

2学年医療職志望生徒対象 医療講演会(新潟大学出前講義)
演題:「看護の変遷」

講師:新潟大学 医学部保健学科 助教 坂上 百重先生

今回は医療専攻の生徒以外で看護医療職を目指す生徒との合同授業でした。毎年、新潟大学の先生方が講義体験を西高校で実施してくださっています。今回は、法・農・創生・理・工・医(保)・教育学部から各種講座が開講されました。



* 生徒の感想 *

看護とは、母親的看護に始まり、古代で初めて家庭外の第三者が看護を担い、奉仕的看護を経て今のナイチンゲール式の看護に行きついた。その近代看護を生み出した看護の母、ナイチンゲールの偉大さを改めて知ることができた。……専門学校・短大には看護のケアが着実に実践できる看護師を、四年制大学には学問的に裏打ちされた看護の実践ができる看護師を、それぞれ育成することを求められていることが分かった。看護には「観察力・洞察力・思考力・コミュニケーション能力」が必要と教えていただいたので、より高めていけるように頑張りたいと思った。